

【建設通信新聞 令和7年3月21日】



時代の変化見据えて 群馬建協が経営 レポートセミナー

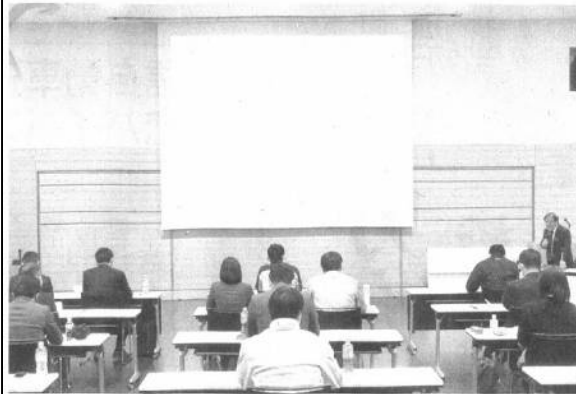
群馬県建設業協会（青柳剛会長）は18日、前橋市の群馬建設会館で2024年度建設業経営レポートセミナーを開いた。会員企業の22社から36人が参加した。写真。

青柳会長は冒頭、「特に若い経営者たちを対象に、時代の変化を見据えたセミナーと

なっている。それぞれの企業の中長期的な戦略を描く指針になればありがたい」と呼び掛けた。埼玉県道路陥没事故や東北の山林火災にも言及しながら、「今月から4月にかけて、予算成立の方向性とともに国土強靱化実施中期計画の基本が固まってくると思われるが、20兆から25兆円の範囲で事業規模が決まることを期待している」と述べた。

セミナーでは、日本マルチメディア・イクイップメントの高田守康代表取締役が「経営データや入札落札データなどのエビデンスに基づく経営分析と経営計画を学ぶ」と題して講演。▽経営状況を可視化し問題点を発見する「コックピット経営」▽経営改善の着眼点▽市場分析と競合分析▽建設産業の近未来と経営計画——について解説した。

【群馬建設新聞 令和7年3月20日】



熱心に聴講する参加者



青柳会長

青年会
協者部
建協
群経

生産性向上など学ぶ 経営レポートセミナー

群馬県建設業協会（青柳剛会長）は群馬建設業青年経営者部会（篠原玄洋部会長）との共催により、新たな生産性の向上を図るリーマンズメン

より18日、前橋市内の群馬建設会館で、2024年度建設業経営レポートセミナーを開催した。会員企業22社36人が参加し、新たな生産性の向上の立ち位置からデータで考えてみるという労働時間と生産性の問題など、時代の変化を見据えたセミナーとなっている。

マルチメディア・イクイップメントの高田守康代表取締役が務め、各社に配布した建設業経営レポートを基に解説などを行った。

冒頭のあいさつで青柳会長は「きょうのセミナーは、特に若い経営者の人たちが、経営を自分の立ち位置からデータで考えてみるという労働時間と生産性の問題など、時代の変化を見据えたセミナーとなっている。それぞれの企業の中長期的な戦略を描く指針になればと思う。各企業にとって有意義なものになることを祈念している」と話した。

セミナーでは日本マルチメディア・イクイップメントが企業ごとに作成し、まとめた建設業経営レポートが配布された。なお、建設業経営レポートは主要建設業データベース「SkGDB」に掲載されたデータを使用し作成した。

セミナーの講師は日本



エビデンスに基づく 経営分析・計画学ぶ

群馬建協、建設業
経営レポートセミナー

群馬県建設業協会（青柳剛会長）は18日、前橋市の群馬建設会館で2024年度「建設業経営レポートセミナー」を開いた。写真。群馬建協青年経営者部会（部会長・篠原玄洋瑞穂建設社長）との共催。建協本部会員企業の経営者や経営

幹部ら36人が参加し、経営事項審査データや入札・落札データなどのエビデンスに基づく経営分析と経営計画を学んだ。

冒頭、青柳会長は「若い経営者が労働時間と生産性の問題など、時代の変化を見据えたセミナーになっている。企業の中長期的な戦略を描く指針になれば」と呼び掛けた。

セミナーの講師役は日本マルチメディア・イクイッ

プメントの高田守康代表取締役が務めた。高田氏は「経営産業の近未来と経営計画」と題して、リーマンネジメントや生成AIの建設業への活用などを解説。▽経営状況を可視化し問題点を発見する「コックピット経営」▽経営改善の着眼点▽市場分析と競合分析▽建設産業の近未来と経営計画」といった話題を提供した。